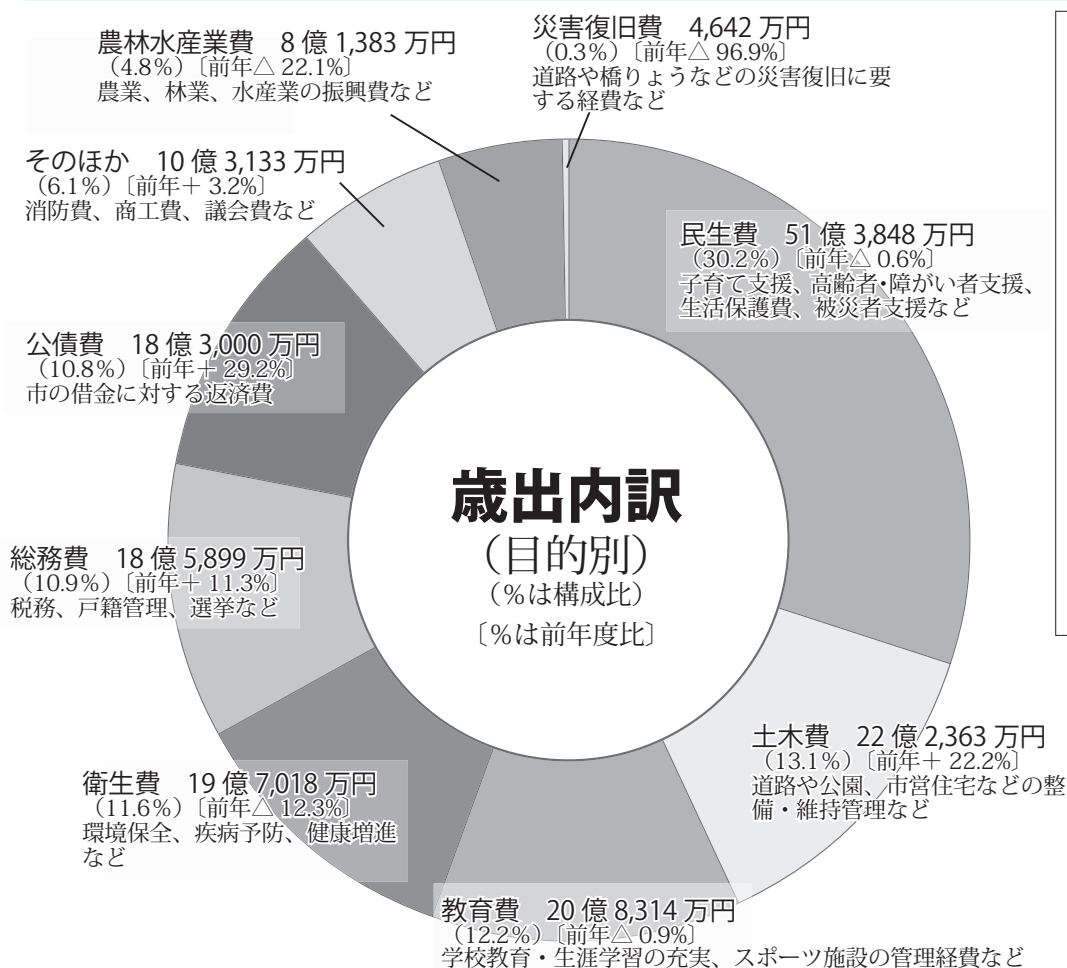


令和4年度の当初予算概要

一般会計予算 169 億 9,600 万円

- ▽通常予算 約 164 億 4,000 万円
- ▽東日本大震災予算 約 3 億 5,000 万円
- ▽令和元年東日本台風予算 約 4,000 万円
- ▽感染症対策予算 約 1 億 6,000 万円



令和4年度一般会計の当初予算は前年度に比べて、令和元年東日本台風および令和3年福島県沖地震の災害復旧事業が進んだことなどから、前年度より大きく減額となっています。

歳出については、新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来の継続や病院での新型コロナワクチン個別接種などの経費に加え、小泉川ポンプ場の耐震改修事業などの予算を計上しています。

ここでは、目的別に、主な事業を紹介します。

各予算の事業の紹介で(新)となっているものは、新規事業(令和3年度当初予算にない事業)になっているよ。



衛生費

●新型コロナワクチン接種事業 2,591 万円

5～11歳の集団接種および病院での個別接種やコールセンターの運営を継続します。



病院での個別接種

●感染症対策事業 3,349 万円

発熱外来の設置など、新型コロナウイルス感染症の市内まん延を予防するための対策を実施します。

●ごみの収集・処理経費 6 億 3,071 万円

ごみステーションに排出されるごみの収集、分別、処理に必要な経費です。

●公立相馬総合病院への負担金 4 億 7,376 万円

民生費

●放課後児童クラブ運営経費 7,610 万円

中村第二小学校の児童クラブ分室を新たに設置します。(728 万円)

●(新) 保育士等処遇改善臨時特例事業補助 1,550 万円

国の交付金を活用し、保育士などの収入を3%程度引き上げるための補助金を支給します。

●子ども医療費助成事業 1 億 4,476 万円

●生活保護扶助事業 2 億 8,640 万円

教育費

● ICT 活用教育支援事業

8,583 万円

タブレットなどを活用した教育支援のために要する経費で、本年度は小学校 1・2 年生児童へのタブレット配備や大型モニターの整備を行います。



タブレットを活用した授業

●学校給食無料化事業

1 億 7,975 万円

●幼稚園教育無償化事業

9,935 万円

●心のケア事業

2,429 万円

東日本大震災で被災した児童・生徒やその保護者などに対して、臨床心理士によるカウンセリングなどの心のケアを継続し、子どもたちの健やかな成長を支援します。

●英語教育推進事業

3,496 万円

●（新）未来への志づくり事業

101 万円

高校生を対象として、夢を具体的に実現するための「志」を持つきっかけの場となる講演会を開催します。



学校給食

総務費

●（新）参議院議員選挙事業

1,936 万円

●（新）県知事選挙事業

1,773 万円

●地方路線バス運行経費

4,377 万円

●お出かけミニバス運行経費

2,268 万円



投票の様子

次のページに、歳入や特別会計などを掲載しています。

土木費

●小泉川ポンプ場耐震・改築工事

4 億 6,910 万円

市街地の雨水排水を担う小泉川ポンプ場の耐震化・設備更新を行います。（令和 6 年度までの事業）

●公園緑地等管理経費

4,919 万円

尾浜こども公園など、市内の都市公園の維持管理に必要な経費です。

農林水産業費

●浜の駅 松川浦管理運営経費

3,028 万円

浜の駅松川浦を活用して風評被害の払しょく、交流人口の拡大を図ります。



浜の駅 松川浦のイベント

●排水機場維持管理事業

5,916 万円

●有害鳥獣捕獲事業

2,050 万円

有害鳥獣の捕獲、農地への侵入防止対策を推進し、農作物などの被害防止を図ります。

そのほか 消防費、商工費、議会費など

●消防施設整備

2,117 万円

小型動力ポンプ積載車などの整備などを行います。

●（新）道の駅そうま 物産館改修経費

1,993 万円

リニューアルオープンに向け、改修工事などを行います。



道の駅そうま

●（新）地域魅力向上・発信事業

1,548 万円

市内の観光施設を周遊するイベントなどを行い、市外・県外の方に向けて相馬市の魅力を発信し、風評被害の払しょくを図ります。

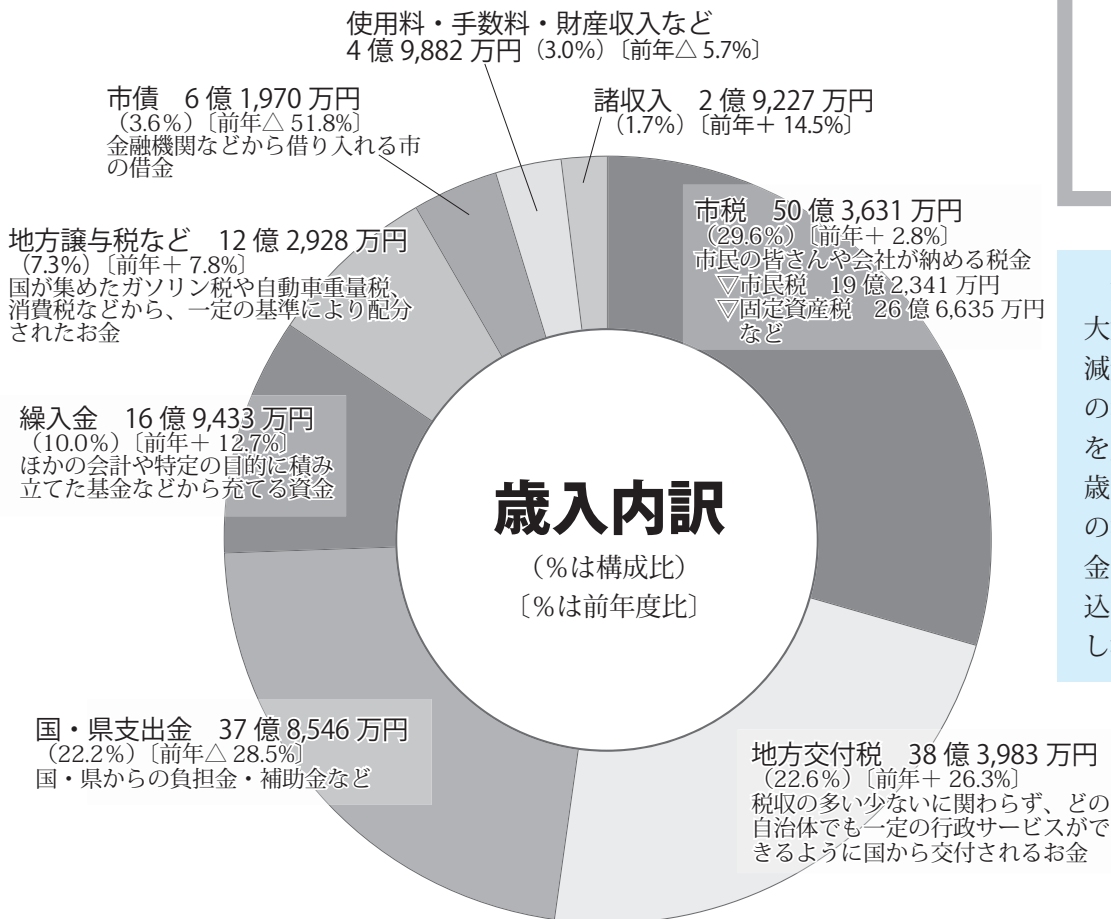
●議会運営経費

1 億 3,945 万円

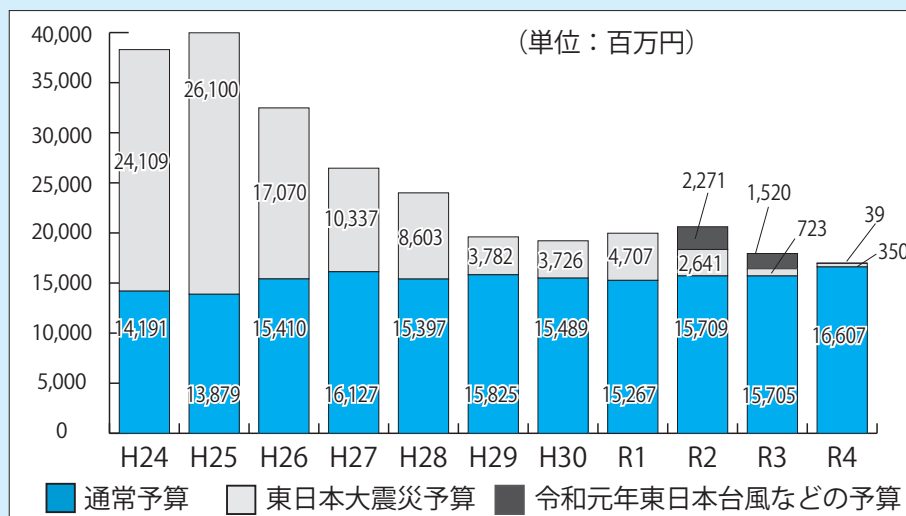
●問い合わせ先 財政課（☎ 37-2123）

一般会計 歳入予算

歳入については、東日本大震災に係る固定資産税の減免などの終了に伴う市税の増収や地方交付税の増加を見込んでいます。一方で歳出同様、災害復旧の事業の減少により、国・県支出金および市債が減少する見込みであり、前年度と比較し減額となっています。



一般会計当初予算額の推移



今年度の東日本大震災に関連する予算は、前年度の約7億2,300万円から3億7,300万円減額となり、約3億5,000万円となっています。予算全体に占める割合は、2.1%です。

また、令和元年東日本台風などの復旧事業に関連する予算は約4,000万円となっており、予算全体に占める割合は、0.2%です。



特別会計予算

特別会計は、特定の事業を行うために、一般会計とは財布を分けて管理しています。

企業会計予算

公共下水道事業および農業集落排水事業は、令和2年度より企業会計に移行しました。これにより、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上などを図っていきます。

特別会計名	予算額	前年度比
国民健康保険	38億 5,500万円	6.3%
後期高齢者医療	4億 6,100万円	5.5%
介護保険	39億 3,942万円	4.9%
光陽地区造成	11億 5,605万円	0.0%
合計	94億 1,147万円	4.8%

企業会計	予算額	前年度比
下水道事業	収益的支出	11億 9,016万円 △7.8%
	資本的支出	6億 4,568万円 1.2%
合計	18億 3,584万円	△4.8%